

読み終わったら保護者の方にも読んでもらいましょう。

# 進路だより

第1号

平成30年4月9日発行  
宮城県小牛田農林高等学校

## 入学・進級おめでとう!

新入生のみなさん、入学おめでとうございます。2, 3年生の皆さん、進級おめでとうございます。桜の花も咲き、春風の心地よい季節となりました。

いよいよ新年度がスタートし、それぞれの新しい生活へ期待に胸を膨らませていることでしょう。本校は今年で創立130年を迎えます。これまでに県内外、さまざまな分野に多くの優秀な人材を輩出してきました。皆さんも本校の輝かしい歴史の1ページを飾る存在になるべく、学習に部活動に一生懸命励んで、充実した学校生活を送ってください。

**夢なき者に理想なし、理想なき者に計画なし、計画なき者に成功なし。故に、夢なき者に成功なし**

吉田松陰（江戸時代に活躍した長州藩の思想家・教育者。松下村塾を開塾）

逆から読めば「成功をおさめるためには計画が必要、計画をたてるためには理想が必要、理想を持つには夢が必要」とも読めます。

自分の卒業する時、未来を思い浮かべてみましょう。その未来の姿「どんな仕事に就いているか」「どんな学校でどんな勉強をしているか」=夢です。

夢の実現のために、理想を追い求め、計画を立てて取り組みましょう。それが成功への道です。

進路指導部は皆さんの夢の実現、理想の追求、計画立案をサポートするところです。

## 平成30年度進路指導部の紹介

9名で皆さんの進路を全力でサポートします（○=チーフ）

名前	学年	担当	教科	名前	学年	担当	教科
向井 真	3学年	進路部長	地歴公民	太田 明雄	2-5正	就職	理科
大友美保子	3-4正	○進学	英語	菊池珠貴	2学年	進学	国語
大塚圭輔	3-3正	就職・公務員	数学	千葉 孝	1-4正	進路副部長 進学	数学
鈴木元信	3-2副	就職・公務員	保健体育	佐々木泰子	1-3副	○就職	理科

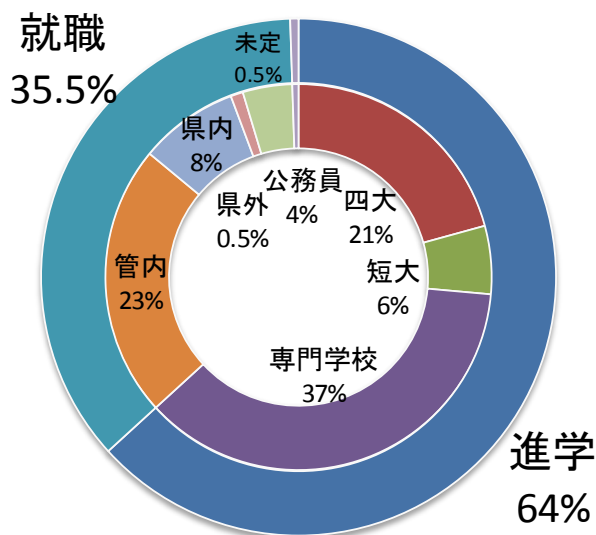
今年度も阿部太郎先生に「『地学地就』地域産業の担い手育成推進事業連携コーディネーター」として進路指導部をお手伝いいただきます。勤務日は原則として火、水、木曜の三日間です。主に就職担当として企業訪問や皆さんの進路相談にのっていただきます。

読み終わったら保護者の方にも読んでもらいましょう。

# 平成29年度進路決定状況

昨年度の進路決定状況は右グラフの通りです。H28年度と比較すると就職者が10%減り、その分、専門各種学校進学者が増えました。

就職は希望者全員が内定し、内定率100%を達成しました。進学についてもほとんどの生徒が志望校に合格しました。



## 就職

生徒自身による求人票の検討や会社見学などの企業

研究、筆記試験対策や面接練習などの受験準備などの普段の努力はもちろんですが、好景気に支えられた求人数の増加も、高い内定率の要因のひとつと思われます。この状況は、各企業の来年度新卒採用状況の予定などからもまだ続く可能性が高いと思われます。

業種別内訳 製造業 42.9% (30人)、建設業 11.4% (8人)、公務員 11.4% (8人)、卸売・小売業 8.6% (6人)、医療・福祉 8.6% (6人)、宿泊・飲食サービス 7.1% (5人)、複合サービス 5.7% (4人)、農業 4.3% (3人)。

職種別内訳 生産・製造・建設等 50% (35人)、事務 14.3% (10人)、サービス 14.3% (10人)、専門職 5.7% (4人)、販売 2.9% (2人)、その他(保安等) 12.8% (9人)。

## 公務員

10名が合格(1名は複数合格)しました。今年は、ここ数年合格者が出ていなかった国家税務東北や大崎地域広域行政事務組合消防職員(初級職)にも合格しました。

他の合格先 宮城県(土木)、大崎市、美里町、宮城県警、福島県警、陸上自衛隊

## 進学

受験方法については、推薦入試が29%、A0入試が67%、一般入試が4%となっており、進学者のほとんどが推薦とA0を利用した合格となっています。推薦入試やA0入試は学科試験が無いと思われがちですが、学科試験や面接での口頭試問を採用する学校も増えてきています。上級学校側も基礎学力を身につけた学生を望んでいることのあらわれと思われます。「A0入試=入りやすい」ということはありません。普段の学習で基礎学力を身につけること、部活動や様々な活動を通じて見聞を広げ、体験をするなどして、面接や小論文で使える「材料」を探しておくことが大切です。

今年は筑波大学や東北医科薬科大学などの難関校に合格しました。合格生徒は1年次から進学課外に積極的に参加、部活動との両立を果たすなど受験の準備は万全のものでした。また、私立四大合格を辞退し、来年度に国公立四大を目指して受験準備に入った生徒もいます。「入りやすい学校」ではなく「入りたい学校」を選び、高い目標を持って早いうちから準備することが必要です。